

# 小学生・中学生「総合コース」について Ver03

平成29年8月22日(火)

## ●自主学習の総合サポート

学校の課題(ワーク, プリント等), 授業の復習・予習, テスト対策(定期, 入試), ながて克服学習など, 自主学習を塾がトータルでサポートするのが総合コースです。

- 1 これらの学習を, 塾で, 先生の指導の下で進めることができます。  
学習していて, 教科書, 参考書, ワークなどの解説で理解できないところや解けない問題あったら先生に質問して下さい。先生がただちに教えてくれます。  
(1グループは3~4人ほどですので, 気軽に質問できます。声をかけるのが苦手な人は手を上げて下さい。先生の方から教えに行きます。)
- 2 自宅で勉強していて, 解けない問題がでてきたら, F A Xやメールを使っていつでも教えてもらえます(詳しくは後述)。

このように, 数専ゼミでは, みなさんの自主学習を, 塾で家庭で, トータルでサポートしています。具体的には, 塾からは次のような学習のサポートがあります。

### (1) 学力をつける指導

教科書, 参考書, ワークなどの解説で理解できないところや解けない問題あったら先生に質問して下さい。先生がただちに教えてくれます。

- 1 長い文章題や証明問題などは, 前日までにF A Xかメールで送信していただければ, 授業内でただちに教えることができます。  
(解答や解説があったら添付して下さい。問題を解くときに使う資料を準備したり, 解答書をすみやかに作成するためです。)
- 2 教えてもらったら, ただちに, その問題を解く”練習”をしましょう。  
その後, 別の問題を解いた後で, 資料を見ないで自力だけで解いてみましょう。  
解ければわかったということです。解けない時はさらに練習しましょう。
- 3 後日, 質問のあった問題の類題をさしあげます。これも解いてみましょう。  
この問題が解けたら, 質問の問題が本当にわかったということです。  
この段階で, 学力のレベルは確実に1つだけ上がっております。

解けない時には教えてもらうことは大切な学習法です。

いつまでも考えるのは, 趣味でやる分にはかまいませんが, 受験勉強としては, 時間の無駄になります。学習の目標はその問題が解けるようになることです。

## (2) **「にがて」を克服する指導**

- ① 「にがて」な問題は、教材をもらって学習することができます。  
例えば、「方程式の出会い問題や追いかける問題を下さい。」などと学習したいテーマの教材をリクエストして下さい。直ちに教材をさしあげます。  
その場で学習し、添削指導してもらうことができます。教材、指導とも無料です。
- ② 学校の授業や家で学習していてよくわからない部分を見つけたらメモしておき、次の塾の日に学習教材をもらうような学習習慣をつけましょう。  
わからないところがわかることは、50%はわかるようになったということです。

## (3) **何を勉強したらいいのかわからない人に…**

今、授業で習っていることで一番大切なところ(入試という観点から見て…)を学習する教材をさしあげます。それを学習して下さい。  
1問ずつ添削指導します。1歩ずつ足下を固めながら前進する学習スタイルを身につける指導です。教材、指導とも無料です。  
「なんだかわからないけれど”やった”型学習スタイルから脱却しましょう。」

## (4) **塾のない日の指導**

塾のない日に家庭で勉強していてわからないところがあったら、FAXかメールで質問することができます。24時間、いつでも質問できます。指導料は不要です。

- ① FAX 023-633-1094  
回答はFAXで返送します。問題の複雑さによっては多少の時間はかかりますが、当日中には回答できると思います。  
(迅速に回答するために、もしあれば答と解説も同時に送信して下さい。)
- ② 数専ゼミのホームページ(suusenn.com)にあるポストのイラストをクリックして下さい。メールができます。めんどろなメールアドレスの入力は不要です。  
回答は、数専ゼミのホームページ上にアップロードします。  
数専ゼミのトップページの MENU | 質問箱 | をクリックして下さい。  
回答を見たり、印刷することができます。

## (5) **テスト前の集中レッスン**

テスト近くにもっとテスト勉強をしたい人のために、スポット授業を用意してあります。いつでも何コマでも受講できます。受講したい曜日と時間をお申込み下さい。  
(1スポットの授業料は90分で2500円です。次月に、通常授業料の請求と合わせて請求させていただきます。)

## (6) 学校の定期テスト対策の指導

- ① まず最初に、学校からテスト範囲として指示された内容を学習して下さい。  
解けない問題は、積極的に先生から教えてもらい、全範囲の問題を自分の力で解けるようにしておきましょう。チェックリポート学習法(下記参照)で学習すれば、だれでも確実に92点以上は取れます。きちんと指示通りにやればの話ですが…。
- ② 余裕のある人には、テスト範囲の模擬テストをさしあげます。それを使って最後の仕上げをし、弱点が見つかったときは直ちに補強学習をして下さい。

## (7) テスト後対策

テストは学校が求める学力の到達目標であり、あなたの解答用紙はそれに対する到達点を「具体的」に示しているものです。だから、テストで解けなかった問題を解けるようにすれば、学力は学校が求める目標に到達できます(テストで100点とったことと同じ学力水準に到達したことになります)。

このように、テストの後学習は、テスト前学習よりも、ずっと短時間で学力を上げることができます。こんなすごい学習法をほっておくことはないということで、数専ゼミでは、次の要領で「テスト後学習」の指導を行います。

- ① テスト用紙と解答用紙をリングファイルに日付順に差し込む。(これが学力の源泉)
- ② 「まちがいノート」を作り、テスト用紙の直後に差し込む。  
\* リングファイルに差し込めるようにルーズリーフノートを使います。  
これらは、範囲のない実力テストや模試のテスト対策資料として有効に活用できます。
- ③ ピート学習法(下記)で、テスト後学習を行う。

## (8) 高校入試対策の指導

- ① 受験生は、積極的に入試問題を請求して下さい。無料です。  
例えば「1次関数の動点と面積の問題で、山形県の高校入試に出た問題を下さい」など…。数学については、45年間のすべての単元の入試問題を単元別に編集した教材を用意してあります。どの単元のどの分野からのリクエストにもお応えできます。解けない問題は質問して下さい。解けるようになるまで指導します。
- ② 1, 2年生でも、学校で習っている単元の入試問題を学習してみたい人は、入試問題を請求して下さい。今の学力で解ける問題を選んで提供します。無料です。  
理科や社会なども、今学習できる範囲の問題を選んで入試問題を提供します。早い時期から入試問題を解いておくことは、その後の学習の指針になります。

### リポート学習法

- 詳しくは別紙参照。入塾後の学習のなかでこの学習法を指導します。

## ●対象，教科等

- (1) 対象は，小学生・中学生と予備校生，  
および，学校には行っていないけれども小学・中学の勉強をしたい人などです。
- (2) 何科目でも自由に勉強できます。勉強したい課題を持って塾に来て下さい。  
課題がない週には，弱点補強や入試対策の勉強を進めておきましょう。  
学習したい内容をお申し出下さい。学習教材をさしあげます(すべて無料です)。

## ●授業日，時間等

- (1) 授業日：  
月，火，水 / 土，日 曜日 から選択して下さい。  
(木，金曜日は授業はありませんが質問指導はしております)  
5科目指導を受ける場合は，週2コマ以上を受講することをお勧めします。  
(週1コマでは，ほとんど学習が進まないからです。)  
受験生で5科目指導を受ける場合は，週3コマ以上受講することをお勧めします。  
(学校の授業対策と並行して受験対策をやらなければならないからです。)
- (2) 授業時間：  
A組 4時30分～6時， B組 6時～7時30分， C組 7時30分～9時  
から選択して下さい。(1組あたりの人数を3～4人程度に保つためです。ご了承下さい。)
- (3) 希望する曜日・組で受講できます。  
(予め決めていただきますが，出席できないときの振替は自由にできます。)

## ●授業料等

- (1) 週1回(90分授業)ずつ月4回(または3回)受講して，月額10000円です。  
【注】4，7，8，12，1，3月は月3回，5，6，9，10，11，2月は月4回の授業です。
- (2) 空調費，教材費，消費税等，授業料以外の経費は一切不要ですが，  
入学時のみ入学金として15000円が必要です。
- (3) 週4コマ以上受講する場合から，次の要領で割引になります。  
通常授業料×0.85  
(例) 週4コマの場合 40000円×0.85=34000円  
(90分/コマ×4コマ=6時間00分/週)  
週5コマの場合 50000円×0.85=42500円  
(90分/コマ×4コマ=6時間/週)
- (4) 教材プリントはすべて無料です。FAXやメールでの質問もすべて無料です。  
勉強するほどお得になるシステムです。
- (5) 他塾からの転塾の場合  
3か月以内の入学金領収書を提示いただければ，  
数専ゼミの入学金15000円はいただきません。